

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成28年度第1回小金井市消防団運営審議会		
開 催 日 時		平成28年7月22日(金) 18時25分～19時30分		
開 催 場 所		小金井市役所 第一会議室(本庁舎3階)		
出 席 者	委員	安田孝昭・野口和史・田中康夫・三笠俊彦・鈴木成夫・紀由紀子・渡辺大三・木下隆一・上原秀則・松縄忠一		
	その他	西岡真一郎		
	事務局	中谷行男・吉田亮二・大久保圭祐		
傍聴の可否		可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会 議 次 第		1 消防団員の改選結果について 2 平成27年度常備消防費・非常備消防費決算について 3 その他		
会 議 結 果		会議次第にそって、下記提出資料の説明・報告を行った。		
提 出 資 料		1 小金井市消防団運営審議会委員名簿 2 小金井市消防団員改選事務日程表 3 小金井市消防団員名簿 4 平成28年度小金井市消防団員改選結果 5 平成27年度常備消防費・非常備消防費決算について 6 平成27年度月別消防団員出動状況 7 平成28年度消防費予算について 8 学生消防団活動認証制度の概要		
そ の 他				

審議経過(主な発言要旨等)

議題及び審議結果

会 長: みなさん、こんばんは。各委員の皆様におかれましては大変忙しいところ、ご参集いただき誠にありがとうございます。今回の改選にあたりまして各委員はじめ、推薦委員のみなさま多くの関係者にご協力いただきましてこの場をお借りし御礼申し上げます。それではただ今から、平成28年度第1回小金井市消防団運営審議会を開催させていただきます。本日の議事進行につきましては各委員のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。は

じめに新たな委員が任命されましたのでご紹介申し上げます。はじめに4月1日付けで木下委員、また7月1日付けで上原委員を任命いたしました。木下委員及び上原委員から一言ご挨拶をお願い申し上げたいと思います。最初に小金井市消防団長木下委員よりよろしく願いいたします。

木下委員：皆さん、こんばんは。ただいまご紹介いただきました本年4月より消防団長の任につきました木下でございます。前任の渡辺前団長から引き継ぎまして一生懸命職務を全うしていきたいと思っております。また、皆様と一緒にいろんなことを考えてより良い団運営をしていければと思っております。どうぞ、お力添えないし、ご支援いただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

会 長：木下委員、ありがとうございます。続きまして副市長上原委員お願いいたします。

上原委員：皆さん、こんばんは。去る5月20日付けをもちまして副市長を拝命いたしました。その後、7月1日付けをもちまして当委員会の審議会の委員に拝命を受けました。かつて、消防団事務局で何年かお世話になったことがあります。その経験を生かしてさらに小金井市消防力の向上に寄与できるように努めて参りたいと思っておりますので今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

会 長：ご両人ありがとうございます。それではご紹介を終わらせていただきまして、次に事務局から本日の議案につきまして説明を行います。

事 務 局：説明に入る前に事務局にも人事異動がありましたのでご紹介させていただきます。4月1日付けで総務部長に着任いたしました中谷でございます。こんばんは。中谷でございます。どうぞよろしく願いいたします。

次に、4月1日付けで主任に昇任し消防団担当となりました大久保でございます。大久保です。よろしく願いいたします。以上で事務局の紹介を終わらせていただきます。続きまして本日の委員の欠席の報告でございます。本日は、當麻委員が所用により欠席ということで連絡をいただいております。なお、半数以上の委員が出席しておりますので本審議会は成立しておりますのでよろしく願います。それでは資料の配布について確認させていただきます。資料の一番に次第が載っております。一枚おめくりいただきまして、資料1 小金井市消防団運営審議会委員名簿、続きまして、資料2 小金井市消防団員改選事務日程表、続きまして、資料3 小金井市消防団員名簿でございます。続きまして、資料4 平成28年度小金井市消防団員改選結果についてでございます。次に資料5 平成27年度常備消防費・非常備消防費決算についてでございます。次に資料6 平成27年度月別消防団員出動状況でございます。次に資料7 平成28年度消防費予算に

ついてでございます。最後に資料 8 学生消防団活動認証制度の概要及び別紙 1 が付いていると思います。資料漏れ等はないでしょうか。それでは、本日の議題の進行についてでございます。まず、報告事項といたしまして、「消防団員の改選結果について」ご報告をさせていただきます。続きまして議題の 2 といたしまして、「平成 27 年度常備消防費・非常備消防費決算について」ご報告させていただきます。その後「その他」の部分におきまして本年度の予算及び事業等につきまして説明させていただきます、最後に学生消防活動認証制度についてご説明をさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。以上で事務局からの説明は終わります。

会 長：それでは、会議に先立ちまして市長からご挨拶を申し上げます。

市 長：皆さん、こんばんは。小金井市長の西岡でございます。本日は平成 28 年度第 1 回目の小金井市消防団運営審議会の開催にあたりまして私自身も出席をさせていただきました。どうぞよろしく願いいたします。審議会の皆様方には安田会長はじめ委員の皆様方におきまして活発なご議論をいただきながら小金井市の大変、大切な存在でございます、市民の生命と財産を守るために日夜ご尽力いただいて小金井市消防団の運営のために様々なご尽力をいただいておりますことに改めて心より御礼と感謝申し上げます。ありがとうございます。本年 4 月からは木下団長率いる新しい消防団体制がスタートいたしました。改選に際しまして委員の皆様方も様々なご努力と御尽力があったことと思っております。ありがとうございます。また、事務局から説明がありましたように人事異動がございました。今後も私共小金井市役所、行政といたしましては消防団が地域防災力の要でございます。この消防団の活動がしっかりと行われるように精一杯尽力してまいりたいと考えております。熊本の地震が発生をいたしました。行政としてもこれまでに 7 人の職員を現地に派遣をさせていただきました。派遣した職員からも様々な報告を受けてございます。特に小金井市はやはり地震への対策が非常に重要だと思っております。消防団の方々とまた運営審議会の皆様方からの様々なご意見をいただきながら小金井市の地域防災力の向上に全力で努めて参りたいと思っております。また、平成 28 年度の当初予算につきましては暫定予算ということになりましてご心配をおかけいたしました。5 月 24 日に一般会計予算が可決成立をしていただきまして、小金井市が取り組む平成 28 年度の防災消防関係の予算の適正な執行に努めているところでございます。今年度に関しましては、例えば防災マップを 5 年ぶりに改訂でございますとか、消防団活動の後方支援隊の創設でございますとか、様々な重要な事業に取り組んでいかなければいけない年でありまして精一杯、防災向上のために力を尽くして参りたいと思っております。

私自身も地域防災力の向上、小金井市の防災力の向上にはとりわけ力を入れて取り組んでいく決意でございます。どうぞよろしく願いいたします。それでは今後とも消防団が抱えている様々な課題がございますのでこの課題の解決に向けて皆様方とともに知恵を出し合い、力を合わせて円滑な消防団の運営に尽力してまいりたいと思います。どうぞ皆様よろしく願いいたします。

会 長：市長、ありがとうございました。

それでは本日の議題に入りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。それでは議題1の消防団員の改選結果についてを最初の議題とさせていただきます。事務局の方に説明を求めますのでよろしくお願いします。

事務局：それでは説明させていただきます。まず、資料2の「小金井市消防団員改選事務日程表」をご覧いただきたいと思います。平成27年度につきましては、7月27日に消防団運営審議会を開催いたしまして、消防団員の改選方法につきまして諮問をさせていただきました。その後につきましては、9月25日に従前の方法での消防団員改選事務を行うことで、答申をいただきました。その答申ならびに資料2の日程表に基づいた中で、消防団員推薦委員の手続きを行い、11月6日から11月19日までのうち5日間、改選説明会を開催させていただきました。その後、年が明けた1月18日に現職の団員の皆様にも市長名ならびに団長名で、留任の依頼書を送付させていただきました。最終的には、各5個分団の消防団員候補者名簿が届いたのが、3月下旬という状況でございます。その後、4月1日に団員74名の辞令交付式、4月20日に退団式を開催させていただいたところでございます。それでは、続きまして資料3をご覧いただきたいと存じます。今回、4月1日に木下団長のもと本団5名を含めます、総勢74名でスタートしたところでございます。その後、5月に2名、6月に1名の新たな団員が入団しまして、6月1日時点で77名という形で記載させていただいておるところでございます。各分団の団員につきましては、第1分団は14名、第2分団は14名、第3分団は15名、第4分団は14名、第5分団は15名で運営しておるところでございます。第1分団、第2分団及び第4分団の欠員につきましては、現在も団員の募集をさせていただいているという状況でございます。今回の改選では、17名の団員さんが3月31日付けで退団され、前期の欠員補充分も含めまして、15名の新団員が入団したところでございます。今回の新団員15名の平均年齢につきましては35.1歳で、一番若い団員が19歳、一番年配の団員が43歳で、10代が1人、20代が3人、30代が3人、40代が8人、と年齢に関しては年齢層が高くなってきているという状況でございます。新団員の職業に関して

は、会社員の方、自営業の方さらに今回につきましては1名の大学生の方に入団していただきましたが、懸案になっております公務員につきましては0名という状況でございますが、引き続き、入団するよう努めていきたいと考えております。それでは、団員さんの平均年齢につきましては資料4にありますとおり、全員で計算しますと38.2歳、また平均の団員歴につきましては、約5.4年で2期ないし3期ぐらいの団員歴という形になっております。また、いわゆる勤務地団員と言われます、自宅が小金井市ではなく、勤務先が小金井市という新団員は今回1名でありました。現時点の総勢77名の団員の中では、新団員を含めた4名の勤務地団員がいるという状況でございます。今回の団員の改選にあたりまして、まず、市の取り組みといたしましては、1月の出初式において、消防団員募集ののぼり旗を掲出させていただき、式典の中でも団員募集の呼びかけをさせていただきました。また、出初式の翌日が成人式というところで、成人式の配布物の中に、消防団員募集というPRもさせていただいたところがございます。また、各推薦委員の皆様には、東京都消防協会や東京都から配布されたパンフレット・ポスター等をお渡しし、周辺に貼っていただくなど、対応していただいたところがございます。ありがとうございました。また、市の職員に対しての広報活動といたしましては、庁内広報誌の掲載や市職員が使用するC-naviという情報ツールを使いまして、団員募集等の広報も行いました。また、今年度入所の新入職員には市の独自研修の中でも消防団員の説明を行ったり、職員で団員もいますので、その団員の体験談などの話もしていただいたところがございます。引き続き、こちらの方につきましては、小金井市の職員につきましては現在77名中2名という状況でございます。現時点で消防団に入団しておりませんが、引き続き、職員の勧誘等を行っていききたいと考えております。

また、今回、お手元に市報を配布させていただいたのですが、市報での団員紹介につきましては、6月15日号の市報に掲載させていただきましたが、今回の市報での団員の紹介につきましては、掲載の内容について、写真掲載を一部変更させていただきました。今回の掲載にあたりまして一部の団員さんから写真を掲載して欲しくない旨の相談があったことから検討を行い、顔写真の掲載を変更させていただきましたが、その後、多方面でいろいろなご意見をいただきました。その件では事務局としては丁寧さに欠けていたというところで反省しているところがございます。申し訳ございませんでした。今後につきましては、分団長会議での意見やいろいろな方の意見も伺いながら、丁寧に対応して取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。事務局からは以上になります。

会 長：事務局からの説明が終わりました。まずもって本件につきまして皆さんからの質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

はい、紀委員よろしく申し上げます。

紀 委 員：はい。今、出初式とか、成人式とかでご案内をしたということで募集をしたということでございました。それで反応とかはあったんでしょうか。なんかお電話が来て消防団について聞きたいとか、そういったことはあったんでしょうか。

会 長：事務局から説明申し上げます。

事 務 局：事務局の方としては、例えば、成人式、パンフレットとして今回一部ずつ入れて広報はしたんですが、二十歳の方からの問い合わせはなかったという状況でございます。いろいろな広報、駅前の南口交通広場のポールで消防団募集とかを掲げたりしておりまして、若干ではございますが、問い合わせ等はきてるといったところでございます。

紀 委 員：出初式の？

事 務 局：出初式の時ではないんですが、他のところで問い合わせは何件か、ほんの数件なんですけど、数件受けているという状況でございます。

会 長：ありがとうございます。他にご意見ございましょうか。

はい、渡辺委員、よろしく申し上げます。

渡辺委員：ご報告ありがとうございます。また、改選事務にあたられて大変だったと思うので一同感謝申し上げます。従来から懸案になっておりました市役所の職員なんですけど、今、ご報告では2人、77名中2人ということで留任が二人で、新規は得られなかったということなんだろうと思います。それでこれは私や紀さん、実は第3分団なんですけども、第3分団の新年の集まりとかですね、いろんなところに行ったりですね、いろんなところでやっぱりこう何でもかんでも市の職員を入れて比率が高まればよかったことではないのかもしれないんですけども、やっぱり5個分団ありまして最低一個分団につき一人くらいいけばですね。例えば1欠になっている3つの3個分団については埋まった可能性もあるわけですよ。そういうふうにと考えると前々からいろいろ我々今日ここに来ている3人視察とかやって提案はいろいろ議会でさしていただいているんですけど、ちょっとやっぱり何かですね、強制っていう言葉は好きじゃないんですけど、システム的に市役所から人材が出てくるようなシステムを整えない限りですね、自発的な参加を促しても無理だということは今回の改選で如実に表れたとっていいですよ。

それにやっぱり、職員採用の時の在り方なども含めて、前に見てきたのは新入職員全員とにかく消防団入団ですよ、研修ですよっていうのは甲斐市

の例だったんですが、そこまで一っ跳びに行かなくてもですね、例えば採用にあたって例えば5人なら5人がですね、消防団と兼任となる枠。一般の枠と別に消防団兼任枠みたいなのを作ってですね、それで希望してくれる人はそこで、今、一桁採用ってなってますからね、大変だろうと思うんですけども、ちょっと何か工夫をして次の2年後に向けて工夫していただかないとまた2年後も同じことの繰り返しで。また、消防団関係者の方々から我々もお叱りを受けることになりますので。ぜひそこは市長ともご相談いただいた上で、例えば来年度の職員採用だとかまたあるわけですよ、もう来年4月に採用する人は、実際始まっていますよね。そういう中で枠でなんか工夫するのか、意向をちゃんと確認してなんか優遇するのかですね、何か具体策をですね、来年度の職員採用にあっては、ぜひ講じていただきたいと思います。一つの目安としては最低一個分団につき一人ぐらいっていうくらいの形にならないと。その点どうか見解を聞いておきたい。

会 長：それでは、事務局をお願いします。

事 務 局：それでは市職員の消防団員についてでございます。こちらの方については、引き続き今現在もですね、職員の消防団員確保に向けて勧誘等行っているところでございます。また、新入職員につきましても、先ほども申し上げたとおり独自研修の中でも消防団員の意義役割なども説明させていただきまして、体験談などもご説明しているところでございます。今言われたシステムのなと言ったところにつきましては、渡辺委員からは議会の方でも甲斐市の例を挙げていただき、いろいろご説明をしていただいたところでございます。こちらの方については、地域安全課だけではなく、職員課とも関係がでてきますので、職員課と調整しながらどのような形でできるのか検討してみたいと思っているところでございます。

会 長：よろしいでしょうか。他にご意見ございますでしょうか。では、この件はこれで質問とご提案があったこと承りたいと思います。それでは、次の議案に行きたいと思えます。平成27年度常備消防費・非常備消防費決算についてを議題としたいと思えます。事務局から説明を求めます。

事 務 局：はい、それでは資料5の平成27年度常備消防費・非常備消防費についてを説明したいと思います。平成27年度につきましては、予算が16億8267万5千円の予算に対しまして、支出済額は、16億7601万9963円でございます。内訳といたしましては、東京都の消防事務委託金が約13億8千万円、その他に非常備消防費といたしまして、消防団活動に要する経費または、消防施設の維持管理に要する経費といたしまして、約9千6百万円。また、災害対策・防災対策に要する経費といたしまして、約2億円という形で支出し、昨年度の決算として計上したところでございます。

ます。また、その主なものとしたしまして、非常備消防費の11需用費の車載用デジタル受令機6台、それと18備品購入費の携帯型デジタル無線受令機6機、こちらのほうにつきましては、東京都の補助金を活用して、購入させていただきました。また、11需用費の防火衣につきましては、13着分を購入し、引き続き、新型防火衣の購入につきましては進めていきたいと考えております。簡単ではございますけれども資料5の説明でございます。続きまして、資料6の昨年度の「平成27年度月別消防団員出動状況」についてご説明いたします。こちらのほうにつきましては、火災に関するもの、また訓練に関するもの、警戒に関するものがございますが、警戒というのは、ポンプ車により巡行をしていただくような広報活動等も含めておるものでございます。1番目の各分団の出動回数につきましては、それぞれ一回ごとにカウントさせていただき、月での平均という形で計上しているところでございます。2番目の出動人数につきましては、昨年度延べ消防団員におかれましては、7,297人の団員さんが活動をしていただいたという形になってございます。これを一月あたり、要は12で割りまして、また総勢の団員数で割ったところ、概ね一人の団員さんが月一回あたりの出動回数というところでは、約8回というところになっておるところでございます。このところ、平均しますとだいたい8回前後ぐらい団員さんに出動していただいている結果というところになってございます。簡単ではございますけれども、昨年度の決算状況につきましてはの説明とさせていただきます。

会 長：事務局からの説明は以上になります。この件につきまして、ご質問ご意見ございましたらお願いいたします。特にないようなので、この件につきましては、以上になります。それでは次にその他についてを議題といたします。事務局説明をお願いします。

事務局：それでは、本日ご配布しております資料7、資料8につきまして、ご説明をさせていただきます。まず、資料7の今年度の消防費の予算の関係でございます。今年度の全体予算、一般会計予算につきましては402億400万円でございます。その中での消防費につきましては、17億6215万1千円という形で、一般会計の全体に占める割合は、4.4%という状況でございます。括弧に記載してあるものは、平成27年度の当初関係の数値になってございます。本年度予算の内訳について、説明させていただきます。消防事務委託に要する経費が約13億8千万円、消防団の詰所の維持管理や消火栓の改修といったものに使用する消防施設維持に要する経費が、約2923万円、消防団の活動に要する経費が約6220万円、防災、災害に関係します経費が約2億9383万円、最後にございます防災訓練

に関係します経費が約50万円という状況でございます。消防費に関係します主な事業といたしましては、消火栓標示区画線修繕費は、消えかかっている消火栓の標示を塗り直すものです。退団記念品は、4月には退団式がございましたので、それに関する退団記念品、それと今年度新たに団員さんが入団されましたので、新入団員の被服費、また、新型防火衣一式購入10着分。消防災害支援隊員貸与品は、キャップとベストの購入、また、支援隊につきましては、保険の加入も予定しているところであります。出初式関係では、今年度も駅前での実施を予定しておりますので、会場の設営・車両交通等誘導の委託を行う経費となります。消防団緊急連絡につきましては、2年前にポケベルから、携帯電話のメールで緊急連絡を行っており、引き続き、システムの委託を行うものであります。AEDの更新は、3分団及び4分団のポンプ車積載のAEDの更新を行うものであります。消火ホースにつきましては、各分団に2本、吸管は、1本分を確保しております。避難場所案内板等の修繕は、消えかかった案内板がありますので修繕するものであります。防災マップは、前回作成して全世帯に配布してから、5年が経過しておりますので、全面改訂を行い再度、全世帯に配布する予定でございます。防災行政無線デジタル化工事は、アナログからデジタルに移行するとともに、防災行政無線が老朽化してきていることから、平成27年度及び28年度で工事を行うものであります。備蓄品等につきましては、引き続き、災害に備え備蓄していきたいと考えております。続きまして資料8、学生消防団活動認証制度についてでございます。学生の方が消防団員として社会貢献に努めたことを評価し就職活動を支援するため、消防団活動を行った功績を市長が認証状として発行する制度の導入を考えております。この制度により、学生の消防団への入団を促進し、将来の地域防災の中核を担う人材の確保を狙うところであり、23区においては既に「特別区学生消防団活動認証証明書」という東京消防庁消防総監が証明書を発行する制度がございます。また、多摩地区でも制度を始めているところもあり、小金井市としても導入に向け進めていきたいと考えております。なお、別紙1につきましては、証明書(案)となりますので、ご参照ください。事務局からは、以上となります。

会 長：事務局の説明が終わりました。この件につきまして何かございましたら質問意見お願いいたします。紀委員よろしく申し上げます。

紀 委 員：まずですね、この7番の3・4分団ポンプ車積載AEDの更新について、これは計画的にいつもしているということですのでよろしいでしょうか。確認です。4番で新型防火衣一式購入ということで27年度は13着だったのが10着に減っているんですね。私共は何度も早く促進していただきたい。

早く消防団員に行き渡るようにして欲しいと言っているんですが、10着になっているっていうこと。あの、ぜひ、早急になっていうふうに思っているんですけど、なぜ減っているのかということと、前も聞いたと思います、結局、何年度になったら全部揃うっていう計画でいるのか、ということですね。防災マップについて、作成、配布委託料でありますけれども実際どのような内容でっていうのは、こことかには何も示さないで、どういう形で決められるのか、決められて、その内容とスケジュール、いつ配布することになるのか、伺いたいと思います。あのホントにこれ防災マップって重要だと思いますので、内容についても検討されていると思いますけども、そういった内容、スケジュールについてお聞きしたいと思っています。先ほど言いました防火衣についてもやはり要望も強いですし、熊本を見ていただくとわかるようにいつどこで地震が起こっても本当におかしくないような状況に日本全体がなっているっていうふうに思いますので早急にして欲しいと思います。その点、いかかでしょうか。

会 長：わかりました。いくつかご質問があったと思いますので、事務局の方よろしくをお願いします。

事 務 局：はい。それでは3点いただいたかなと思っています。まず、1点目のですね、AEDの保守の関係でございまして。こちらは計画的に、期限が切れる前に対応してるところでございまして。また、引き続きこちらのほうについては、適正な保守に向けて努めていきたいと思っております。続きまして、2番目の新型防火衣一式購入の関係でございまして。こちらの方につきましては平成26年度から計画的に、装備しているところでございます。こちらの方については10着ということですね、平成27年度と比べ、3着減っているという状況でございまして。最初の年が15着、その次が13着、その後は10着ずつということで計画は立てておりました。また、各議員さんからもいろいろご意見をいただいているところでございます。平成28年度につきましては、東京都の補助金も活用しながら2分の1の補助金がありますので10着ということにはなっているんですが、今後20着今年度はいけるのかなというところで、予定しているところでございます。まだ、最終的な補助金の関係の要綱とかまだ正式なものが来てませんので、そちらに基づいて、市としても申請し、10着分取ってありますのでその倍が買えれば20着ということで、進めていきたいと考えているところでございます。続きまして、防災マップの関係でございまして。こちらは一定5年経っているところがございまして。また、他市と比べるとやはりちょっと小さいんですね。大きさ自体も小さいというところがありますので大きさ自体も変えて大き目のサイズにして、そのままではちょっと見

にくいのでちょっと折って蛇腹式にして、コンパクトになるような形の防災マップを今考えているところでございます。先週、実は埼玉県庁で防災マップの研修があり、職員を参加させていただいたところでございます。また、他市の情報なども集めながら、より良い防災マップの作成に向け努めていきたいと思っております。日頃から自助、共助、公助というのがありますのでその辺も市民の方にわかりやすいように、周知できたらというところを考えているところでございます。スケジュールのお話もありました。これは当然なるべく、早めにとということなんですが、今のところ想定しているのは今年中か、ちょっといろいろ周りの関係もありますので12月くらいには発行出来たらなというところでは考えているのですが、こちらの方についてはできるだけ早く配布できるように努めているところでございます。以上でございます。

会 長：はい。よろしいでしょうか。次どうぞ。

紀 委 員：本当に20着に10着プラス10着と考えていらっしゃるということで補助金等の活用もしていただいてということで、皆さん提案私共も提案してまいりましたけれどもこの対応をぜひしていただきたいと思っております。やっぱり、消防団の方の士気が高まるっていうふうにも思いますし、安全性という意味でも大変重要であるというふうに思っております。防災マップについては、この12月に発行するという事でありましたけれど、これはあの、担当の中だけで考えていらっしゃるんですか。誰かが入ってとか、いうことではないっていうことですか。確認させてください。

会 長：事務局よろしいですか。

事 務 局：防災マップの作製につきまして今のところ、事務局ということで考えているところでございます。また、第三者の方を入れてというようなことは今のところ考えていないというところで前回同様の形で作成していきたいと考えているところでございます。

紀 委 員：いろいろ研究なさっていると思いますがいろんなところでインターネット上でもいろいろ出ていると思いますのでいろいろ工夫されながら、より良いものを5年に1回っていうことでもありますので工夫して作っていただきたいなあというふうに思っております。また、前の時も言ったんですが、配布される前には市民の方に小金井市から防災マップが何月ごろ配布されますよとか事前に言っていただくということが重要ではないかなというふうに思っております。東京都の方で配布された時もこれはどこから来たのかしらとみんな突然来たので市民の方から問い合わせがありました。

会 長：黄色の東京防災ですね。

紀 委 員：そうですね。だから、事前にこういうものが配られますっていうことを周

知していただけたらというふうに思っておりますがいかがでしょうか。

会 長：事務局よろしくお願ひします。

事 務 局：周知方法でございます。確かに東京防災につきましては事務局の方にもかなりの問い合わせがありました。なにこれという感じで。どこが発行してるのということ。それで地図も入っていたのに地図もちょっとわかりづらいということがあり、申し訳ありませんということで地域安全が謝ってということがありました。防災マップについては、確かに紀委員の言われるとおりですね。事前の周知、広報も必要かなというところで今ご意見をいただきましたのでこちらの方も参考に進めていきたいと考えております。

紀 委 員：よろしくお願ひしたいと思ひます。どうしてもなんかよく見ないで捨てちゃったとか、市民の方で、たまにやっぱりあるんですね。どこがどう出してるのかわかんなくて。いろいろ折り込みもいっぱいはあるんじゃないですかね。その辺も配慮していただいて、市報と一緒に配布とか、そういうことだとわかりやすいかなと思ひます。以上です。

会 長：わかりました。貴重なご意見ありがとうございます。前向きに検討していただきたいと思ひます。他にございませぬか。渡辺委員よろしくお願ひします。

渡辺委員：今、紀さんからあつたんですが、新型防火衣の関係で、これも紀さんと私はダイレクトに消防団の方々から急いでもらいたいということで要望を受けております。端的に伺うんですけど、例えば武蔵野市なんて 100%どころじゃないんですよ。100 数パーセントの充足率ですから、人数よりも新型防火衣の方が多い状態になっているんですよ。小金井は 30%台でしたよね。さっき紀さんから聞いててお答えが無かつたんですけど、今年もう少し上乗せたいのはわかりました。最終的に何%にもついでこうと、どれくらいの年数をかけて何%まで充足率を達成しようとしてるのか。現状は近隣市と類似市の中では最悪の充足率になっているわけなんですよ。だから予算でもっと増やしてって修正案を出した訳なんだけど。何年かけて何%にしようと考えているのか。100%にする必然性があるというふうに考えているのか。100%はいらぬんだと考えているのか。いろんな意見があるんですよ。いろんな意見を私も聞いているので端的に言うとうどう考えているんでしょうか。100%にしなければいけないと思ひているのか、100%じゃなくてもいいと思ひているのか、何年かけてどこの%までもついでこうとしているのか。ちょっとそこらへんがはっきり、さっき紀さんが聞かれたことなんですけど、明確にしておいていただけないかということが一つです。それから、防災マップの関係なんすけども例えば、小金井

市はこの間わたしの便利帳というのを初めて民間とタイアップして、小金井市が要するに一円もお金をかけることなく全部わたしの便利帳の冊子ができて、配布もしてもらって小金井市がゼロでやったってことで広報秘書課が頑張っていたと思いますのですが、防災マップも、こういう何か小金井市が発行物を出すときには財政難の折ですから、どれくらいスペース確保できるかわからないですけどね、例えば、広告なども入れてです、発行経費を抑制する工夫がいるのかと。そこらへん工夫する予定があるのかということと。あと、防災マップを穴開くほど見る人って防災に関心の高い人だと思うんですよね。ですから、欠員の状態がまだありますので、消防団の団員募集なんかを防災マップに入るのか、入らないのか、そこらへんはどうなのか。違う観点なんですけど、私よく存じ上げないんですけど、詰所って大きな地震とか起きたときには言ってみれば、地域地域の拠点になりますよね。そこから消防団員の人をそこに集まってそこから出て行ったりするわけですから。詰所自体の備蓄って食料とかそんなもんでかなりきちんと詰所の備蓄って行われているんでしょうか。詰所にはあまり備蓄はないのか。どういう状況にあるんでしょうか、現状。ちょっとそこだけ、現状を教えてくださいませんか。

会 長：わかりました。概ね四つの質問があったと思うんですが、事務局の方で応答ください。

事 務 局：それではまず1点目の新型防火衣の件であります。こちらの方につきましては平成26年度から7年計画です、100%を目途に進めているところでございます。こちらの方につきましては補助金等もありますので活用しながらということにもなるんですが、いろんな方からご意見をいただいているところでございます。計画では7年というところではあります、なるべく早く備えられるように購入できるように努めていきたいと思っております。続きまして、防災マップの関係でございます。防災マップの経費削減ということで広告を載せないかというところでございます。こちらの方も私、他市の防災マップなどもいろいろ見てみました。まったくないというわけではありません。確かに広告の載っているところもあるんですが、防災マップというところで捉えて、やはり防災情報を載せたいという気持ちがあります。ですので今回は、広告を募って載せるということは今のところ考えてはいないというところでございます。ご提案のあった消防団員の募集につきましては、今後内容を決める中でご意見として伺っておきまして検討材料にしていきたいと思っております。続きまして最後の詰所の備蓄についてでございます。こちらについては市で備蓄というのは、していないというところが現状でございますので、詰所だけでは

なく、他にも備蓄は必要でありますので、そういった中で今後検討できればなあといったところであります。

会 長：渡辺委員お願いします。

渡辺委員：時間も時間なので。新型防火衣の件は是非スピードアップをお願いします。我々、毎年、言われておりまして、ぜひ、よろしくお願ひいたします。防災マップの方はちょっとよくこれ持ち帰って検討して見ていただきたいですよね。やっぱり、何か発行する、いろんな発行物があるんですけど、この間いろいろ工夫してきてますよね、経費節減することで。防災マップと言えどもですね、やはり少しでも経費節減できるのであれば、そういうことを考えるべきで、もちろん必要な情報落としてまで広告入れろって、言ってるんじゃないんですが、一定のお金が取れば少々大きなものにして広告入れてもその残りの分印刷分が出ちゃうんですよね。ちょっと広告嫌わないでちょっと広報秘書課にノウハウを聞いてですね、できるだけお金をかけないで充実したものをを出していただける様にですね、ぜひ工夫いただきたいということは要望しておきたいです。それからあの消防団員の募集をそれに入れるかどうかについても、ぜひ合わせてご検討いただきたいと思います。詰所の備蓄はちょっと意外でしたね。言ってみるとやはりあの戦争に例えるとちょっと時節柄よくないんですが戦争でも兵隊さんの食料はちゃんと取っておくんですよね。兵隊さん動けないですよへそ曲げっちゃって。だからそれから見るとやはりいざっていう場合にその詰所に例えばその団員の皆さんが十分に活動していただけるような食料とか水とか、それからいろいろな例えば非常時の怪我した時の対応のものとかもいろいろありますよね。ああいう何が必要か素人にはよくわからないんですがちょっと詰所に必要なものがなにか備蓄されてなきゃいけないのかは早急に検討していただいて計画的に5個分団それぞれにですね、備蓄体制ちょっと狭いんですけどね、いろいろ備蓄できるかどうか微妙なんですけど、ちょっといざという時に肝心の方々が水もなければ食料もないにならないように、小金井消防署さんどれくらいあそこの中に備蓄されているかもあとで聞いてみたいと思うんですが、ぜひそれはご留意いただきたいとこれも要望だけにしておきたいと思います。以上です。

会 長：よろしいですか。ご意見をということで事務局お願いします。渡辺委員貴重なご意見どうもありがとうございます。意見として良い方向にいただきたいと思います。では消防署の方お願いします。

松縄委員：備蓄は1週間分あります、缶詰とか乾パンとか水ですね、水関係については、飲料水についてはペットボトルも若干ありますけど、あとは防火水槽の水を濾過して飲むなんてそんな装置もあります。引き続きよろしいです

か。

会 長：松縄委員よろしくお願いたします。

松縄委員：防災マップの話があったんですけど、うちの消防機関として我々も非常に重要な資料としてあの地図活用させてもらってるんですけど、まずサイズが小さいという事で大きくされる、それは非常に良いことだと思います。それとですね、中の情報の中にAEDの設置場所がはいってるんですけど、消防署にも消防署所緑町出張所も含めて消防署にも庁舎備え付けのAEDがあります。ポンプ車備え付けのとは別にですね、その表示がされていないんですね。市の公共施設だけなんですね、でこれは市民からもたまに問い合わせが来るんですけど、今、日本救急財団の方でAEDの販売の経過みたいなのですけどどこに販売した、その経過をもってですねホームページで公開してますので、消防署のホームページにそれをリンクさせるように、国の方で許可を取りましたので、消防署のホームページをアクセスしてもらえば、AED設置場所には行き着くことが出来ます。ただ非常にですね、画面上もやっぱりスマホだったり見にくいのかなと思って、やっぱり防災マップって、一目瞭然全体が見られるので非常に有効なツールだと思うので、是非そんな一例なんですけど、見直すのであればそんな事も是非検討していただきたいなと、うちの方からも少し要望させてもらえればなというふうに思います。ちょっと、一声かけていただければなと思いました。よろしくお願いたします。

それともう一個別の質問なんですけど、平成27年度の決算と平成28年度の予算について説明ありましたけど、消防水利費が決算の方に入ってなかったんですけど、防火水槽を一基作っていますのよね耐震性貯水槽それは消防費で設置していると思うんですけど、项目的に文字面に入って無かったってことなんですかね。

事務局：まず一点目のAEDの件につきましては、消防署と連携を取りながらするという事で、よろしくお願致します。それとですね、防火水槽の件でございます。こちらの方につきましては、決算の3の災害対策費こちら2億円という事で、ざっくりしてるこの中で防火水槽、今回東町二丁目の提供公園の方に防火水槽を入れらせていただきました。また、平成28年度もですね、一基予定しているという事でございます。よろしくお願致します。

松縄委員：もう一つ、よろしいですか。

会 長：はい、松縄委員。

松縄委員：それと平成28年度予算の中の、3の(1)消火栓区画標示の修繕がありますけれど、今、あの市内の消火栓で表示がされていないのは、どれ位ある

のか。今、先程の説明だと消えかかったやつの修繕だと、どういうふうに考えていらっしゃるのかと、あとは市内を歩いてみると、消火栓標識が、非常に老朽化して逆に危ない位、腐食しているものもあるので、どういうふうに考えていらっしゃるのかと、ちょっとお願いします。

会 長：松縄委員質問ありがとうございます。

事務局の方で説明をお願いします。

事 務 局：まず、消火栓の表示区画線の修繕についてでございます。こちらの方ですね、誠に申し訳ないんですが、数の方は把握してないんですね、いくつあるのか把握してないというところでございます。今回は、予算をとらせていただいたんですが、こちらは市内全域というわけではありません。ちょっと、何年かかけてやっていきたいなという事で考えているところです。今回は50か所の予算で計上させていただいて、順次やっていくような状況でございます。それと消火栓の方ですね、消火栓ポールにつきましては確かにですね、老朽化している部分がかなりあるのかなという事で意識しているところでございます。例えば、最近でいうと、犬のおしっこ等でかなり腐食して弱っているという所もあって、交換したというのもございます。こちらの方についてはですね、予算の関係もありますので、引き続き、そういう不良というかですね危ない消火栓についてはですね順次交換していきたいと思っております。

松縄委員：よろしいですか。消火栓標識って、法令義務じゃないですよ。国の通知に基づいて所在を明らかにして、駐車車両の配慮なんかをしているどっちか黄色い枠があるのか、無い所はポールか、そんな考え方もよろしいのかなと、まあ特別区内はそれでやっているんですけど、逆に特別区内はもう場所がですね、結局道路とか狭隘道路とかあるんで、ほとんど消火栓標識がありません。民間の第三セクターを活用した広告付きの標識があるんですけど、市町村独自の標識はないんでその代わり黄色の枠表示だけは皆やろうという目標でやっております。参考までに以上でございます。

会 長：ありがとうございました。事務局よろしいですか。

事 務 局：一言だけ。市としても、十分承知してるところでございます。なかなか法律で縛れない分、住民の方々からですね色々ご意見いただいているところでございます。新築を建てるにあたって、その消火栓のポールが邪魔だと退かせという問い合わせがあったり、もう老朽化しているからこれ替えた方がいいんじゃないとか、色々なご意見をいただいているところでございます。こちらの方についても、適切に対応していきたいと思っております。確かに、どちらかという事で、下に塗ってあるとなかなか雪が降ったりすると分からないというところもありますので、ポールも含めて両方平行し

て、市としては進めていきたいと考えております。

会 長：事務局ありがとうございました。以上でよろしいでしょうか。他にご意見はございますでしょうか。鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員：えっと、丁寧な説明ありがとうございました。平成28年度のところで、ちょっと伺いたいところがあって、まずですね、今の区画線修繕の件について、今もまあ松縄委員の方から意見あったと思いますが、たぶんこれ消防団の方では、毎年消火栓の点検をやっていますよね、ここで例えばその区画整備のペイントの状況も併せてチェックできると思うんですね、こういったところでですね、分団にあまり重い負担をかけてはいけないと思うんですけど、こういった形で報告をあげていただくことが、もし出来ればね。かなりこれ効率的でいいんじゃないかと、昔はペンキ塗ってたわけですから区画線の、そこのところちょっと工夫していただきたいということで、どうかという事ですね。それと、5番のところに、災害支援隊の貸与品という事で、予算計上されています。おそらく消防団改選とともに、この支援隊が結成されているのかなと思うんですけど、全体的な状況、組織された状況どんな感じなのか、状況ちょっと教えてもらいたいのが一点。それと6番のところの、消防団の緊急連絡システムということで、これ消防署の共通波がデジタル化されていくと受令機が使えなくなるという事があったりするのかなと思うのね。要するにこの緊急連絡システムの重要性について、高くなっていくもかなっていうのを感じていて、この通報のタイミングが若干遅いっていう意見も聞いたりするんですけども、この点どうなのか教えていただければなと思います。

会 長：鈴木委員ありがとうございました。三つ程質問があったと思いますので、事務局説明を求めます。

事務局：一点目のペイントの件でございます。こちらの方については、確かに鈴木委員が言われる通りにですね、消防団の方にご協力いただいて、そこで消火栓の点検及びペイントの確認ということでやっていただくとかなり効率的にできるのかなというところで、そちらの方については、検討していきたいと思っております。続きまして、支援隊の状況でございます。こちらの方につきましては、今現在、要綱等を作成している段階でございます。実際の状況と致しましては、まだ正式な名簿というのは出そろってはいない状況ではございますが、事務局としても、9月頃を目処に、発足していきたいというところです。引き続き、進めていきます。あと三点目の緊急連絡システムの件でございます。確かにですね、二年前ちょうど二年前の4月に導入したところでございます。こちらの方については最初の頃にかなりそういうご意見をいただきました。なかなか連絡が来ない、遅いと受

令機を聞いている方からですね、というご意見いただきました。最近については、私がいうのも何なんです、消防署の方に打っていただいているんですが、慣れてきているという状況もございます。

松縄委員：出火報が来てから、それから小隊班長とかが一名残っていますんで、それが入力するんですが、1分ぐらいでは多分できていると思います。

事務局：ありがとうございます。という状況です。最近は二年前と比べると、かなり早くなってきているのかなという状況でございます。

会長：鈴木委員いかがでしょうか。

鈴木委員：ありがとうございました。災害支援隊、実は、私達もちょっと悩んで分団長とも色々話をしているんです。よそのOB、分団OB皆さん委員さんいらっしゃる、その辺皆さん、各分団どんな感じなのかという事を、聞かせていただけるとありがたいなっていう事もあるんですが、いかがですか。

会長：ご意見ありがとうございます。どうしますか。各分団の方いかがでしょうか。私一分団は、あまり動いてないようです。二分団はいかがですか。

野口委員：うちの方も特に動いてないです。声をかけたり話をしてはいますけども、実際は動いていない状況です。

田中委員：三分団は、大体人選は出来てはいますけど。ただ、体制が出来てないでしょ。

鈴木委員：いや、そこも併せて、皆さんどんな感じなのかとちょっと伺いたいと。

会長：ご意見だけ、三分団はまだ。

田中委員：だいたい人選位は、確保しているという事で。

会長：五分団の方はいかがでしょうか。

三笠委員：分団長から頼まれてはいますけど、大体、若い方からって事で、私の頭の中にはあるんですけど、まだ具体的には、鈴木委員が言ったように、まだ、きちんとした通知もないから、何名出してくれとかいうのが、あった方が出しやすいですね。何をやるのか大体団員の後方支援ですかね。

会長：ありがとうございました。まあいろいろ言いたいことはあるかと思いますが。次よろしいでしょうか。

鈴木委員：まさに、今皆さんが言われた通り、それぞれなんですよ。この質問は前々回からさせていただいた事があったんです。まあ、それぞれの分団の事情があって、ある程度自主性に委ねるところがあるという中で僕らも色々話をしてきたんですけど、やっぱり、決めきれない部分が少しありましてね。そこを、何て言うのかな、もう少しこう、各分団何人と決める事が良いのかどうかを含めてなんですけど、もう一つ、何て言いますかね、その、カチツとした決まり方がしたいというか、そんな事を今、四分団の中では今日後援会長居ませんが、依然として継続した課題がある状況であると、いう中でちょっと皆さんの状況をちょっと伺ってみたかったんで、よく分

かりました。

会 長：鈴木委員ありがとうございました。事務局何か。

事 務 局：今日、貴重なご意見いただいたとっております。確かに事務局としても
どういう形で、各分団違いますので、特色があったりしますので、正直わ
からない部分があったんですけど。今日ご意見いただいたので、事務局と
してもですね、文書を出してほしいという話もありましたので、そういつ
たところで検討していきたいと考えております。ありがとうございました。

会 長：ありがとうございました。

紀委員よろしく申し上げます。

紀 委 員：松縄委員の方から貴重なご意見をいただきました。私自身もAEDを凄く
進めてきたので、このAEDを防災マップに、要するに、民間の施設も載
せてほしいというのが市民の声なんですね。ホームページもですけど、ホ
ームページまた防災マップにも載せてほしいという声がありましたので、
ぜひ載せていただきたいと思います。ホームページはどうかっていうこと
もあわせていいですかね。聞きたいと思います。また防災マップに関して
は、やはり、専門家である消防署の方のご意見を入れていただいて、より
良いものにしていただきたいってふうに思っております。よろしくお願
いします。

会 長：紀委員からの貴重なご意見ありがとうございます。事務局何かありますか。

事 務 局：それでは、防災マップAEDの件でございます。こちらに方については、
確かに今現在は、公共施設のみというような形で掲載しているところでご
ざいます。なかなかですね先程松縄委員からあった通り、ホームページを
見ると、いろんな所にあるというのが出てきます。しかしあれは、買った
所で買った事業所が登録しないと、なかなか出てこないというところがあ
りますのでその辺ですね、どういった形で載せたらいいのか、ご意見いた
だきましたので検討して参りたいと思っております。

会 長：よろしいですか。他に何かご意見ございますか。では、この件につきまし
ては以上とさせていただきます。それでは、その他、何かご意見等ありま
したらお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。よろしいですか。貴
重なご意見、質問ありがとうございました。以上をもちまして、平成28
年度第1回消防団運営審議会をこれにて終了させていただきます。どうも、
貴重な時間ありがとうございました。